

日本ラグビーフットボール協会会長 森 重隆氏（高22回）インタビュー

※インタビューは令和2年1月14日に収録したものです。



○プロフィール

- ・ 1951年11月6日生まれ。
- ・ 福岡県立福岡高等学校卒、高校2、3年生時には全国大会出場。
- ・ 明治大学に進学、ラグビー部に入部し、1年生時から試合に出場。
- ・ 新日鉄釜石（現釜石シーウェイブス）に入社、主将・選手兼監督として日本選手権4連覇。
- ・ 1974年春から日本代表に選出され、センターとして活躍（8試合主将を務める）。
- ・ 30歳で現役を引退、1993年、福岡高校ラグビー部のコーチとなり、1995年から監督を務め、2010年には全国大会出場。
- ・ 2015年、日本ラグビーフットボール協会副会長及び九州ラグビーフットボール協会会長に就任。
- ・ 2019年、日本ラグビーフットボール協会会長に就任



明治大学時代 闘志溢れるプレーで活躍



日本代表時代 センターとして活躍

～ラグビーワールドカップを振り返って～

僕もベスト8に入るとは思ってなかった。ベスト8に入って世界から認められたのが何よりでした。

～ラグビーワールドカップにおける面白いエピソード～

面白いエピソードね～。スコットランドの最後の試合。結局台風が来たので引き分けでもベスト8になるということだったが、日本がどうしてもやりたいと。協会の会長としては引き分けでもいいんじゃないかと思いましたが、選手たちの意向で結局やるようになって、結局そこが面白いと言えば面白い。決意があったなど。



～ラグビーワールドカップにおける福岡堅樹選手（高6 3回）の活躍について～

いや一凄かったですね！今は、年明けてトップリーグ始まってますけど、トップリーグでの活躍もすごいし全世界が注目してますからねえ。もの凄かったと思いますね。あの時あれぐらい頑張れば、全国大会行った時優勝できたのにね・・・。

～女子日本代表で活躍している江淵まこと選手（高6 8回）の活躍について～

江淵選手は協会にインターンで来ているんですよ、一週間に1回ぐらい。あんなおとなしいけどね、僕も高校時代の彼女と会ったことあるけど、鼻を折って次の日練習やってたからすごいですよ！そういう気持ちが、今の日本代表、女子の日本代表になっていると思います。

～ラグビーワールドカップ後の現在のラグビー人気について～

すごいですね！2015年の前回の大会の時は五郎丸（選手）だけだったんですけど、今回みんなテレビとかに出させてくれて、そういう意味ではトップリーグの人気につながってきたのではないかと思います。ただ、これはずっと続くとは思わないし協会としては何か仕掛けをやっていかなければいけない。今みんな一生懸命考えています。

～日本ラグビーフットボール協会会長としての抱負～

初めは、自分になった時、大丈夫かなと思ったんですけど、会長に就任したので、これからの日本ラグビーをずっと考えていかなきゃいけないと思っています。本当に毎日のように思っています。それはやっぱり日本代表が強くないといけない。あとは、底辺の拡大で、子供達がラグビーをしてくれるような、まあ仕掛けみたいなことをやっていかなければいけない。山積してますね、問題は。これからひとつずつ解決していきたいと思います。



～福高ラグビー部へのエール (今年は全国高校大会 100 回記念)～

僕も福岡高校で22年間監督をやっていたので想いは強い。ただ、その100回記念大会とかだから頑張るとかではなくて、福高のラグビー部というのは常に強くなければいけない。式典だからとかそういうものではなくて、毎年毎年毎年、頑張っていかなければいけない。それが強さに繋がっていく。だから、3年計画、5年計画とかよく強化のことがあるんですけど、そんなことではなくて、毎年毎年毎年、コンスタントに強くなっていくといけない。それがやっぱり福高の文化、スポーツ文化、ラグビー部の文化につながっていくような気がします。

～同窓生へのお言葉～

ラグビーの ONE チームではないですけども、福岡高校の同窓生が ONE チームになってみんなで社会に貢献したり、色んなことをしていかなければいけないと思います。是非皆さんひとつ頑張ってみよう！

森会長、ありがとうございました！

